

オンニピオ

猫の手も借

りたい時に連絡して—というのが事業所の由来。居家ケアマネの魅力は「いろいろな職種とつながれて、利用者一人ひとりとじっくり話せるのが魅力」と話す。

高校3年生のインターンシップで高齢者施設を訪れたのをきっかけに福祉に関心を持ち、専門学校に進学、介護福祉士として特養に入職した。結婚・出産後、育児の傍ら26歳で

ねこのて相談センター(札幌市東区)

佐々木 齋子 管理者



ケアマネを取得。特養退職後は医療機関で7年、民間企業で1年、ケアマネとして経験を積み、2023年9月に居宅介護支援事業所を立ち上げた。その間、社会福祉士、主任ケアマネも取得、着実にスキル向上を図る。

人材不足や高齢化が叫ばれるが、「モニタリング訪問の調整さえすれば自由な働き方ができる。居宅ケアマネの仕事を知ってほしい」と若手参入を期待。自身の活動をSNSで発信し、セミナー講師や地域課題解決を疑似体

ケアマネの魅力を発信へ

験する卓上ゲーム、コミュニケーションコーピング」を広める活動にも関わる。

若者、女性を対象にした介護保険講座開催、子育てと起業の両立相談にも取り組みたい考え。自身の経験と将来の業務拡大を見据えて、「子育てしながら働ける、魅力ある職場づくりをしたい」と写真を描く。

札幌市出身。趣味の道の駅巡りは23年に道内を制覇。「利用者さんの出身地を話題に盛り上げられます」と仕事にも生きている。